

# むしのいえ 2017

いろいろな木を枠の中に入れておくと、その中に虫が入り込むだろうということで、「むしのいえ」を作りました。

わくわく自然体験活動に参加している子どもたちや全道昆虫館サミットに参加された栗山の方々。札幌西岡水源地の方たちが木を入れました。また、昆虫館に来館された方の入れて下さいました、

木の種類は、12種類、屋根には、シイタケ用の培養土を乗せました。

このいえは、3年間おいておきます。半年に一度半分ずつ木を出して中の様子を観察します



# 製作



瀧口さん・柳田さん・木村さん・佐藤さんが主になり製作しました。

それぞれが  
プロの技を披露



休日にはたくさんの会員が  
集まり参加しました



トラクターは、瀧口さん



シイタケ用のマットは、  
カブトムシが入ることを期  
待して入れました



子どもたちの  
木入れの作業  
いろいろ考えること  
があります

これで完成  
あとは虫が入るのを待ちます





雨上がり  
蝶が水を飲みに  
やってきました

カブトムシ（メス）  
もやってきました



さあ  
虫は入っているかな



いるよ  
いるよ



つかまえたよ





半分だけ木を出して虫を探しました。  
6カ所で、7種類88匹が見つかりました  
みんな木の中に戻して冬ごもりです  
佐藤さん瀧口さんが除雪をしてくださいました。

#### 「むしのいえ」の支援

- 地球環境基金
- 矢木組 様
- 佐藤正美様
- 瀧口節雄様
- 木村英克様
- 柳田友之様